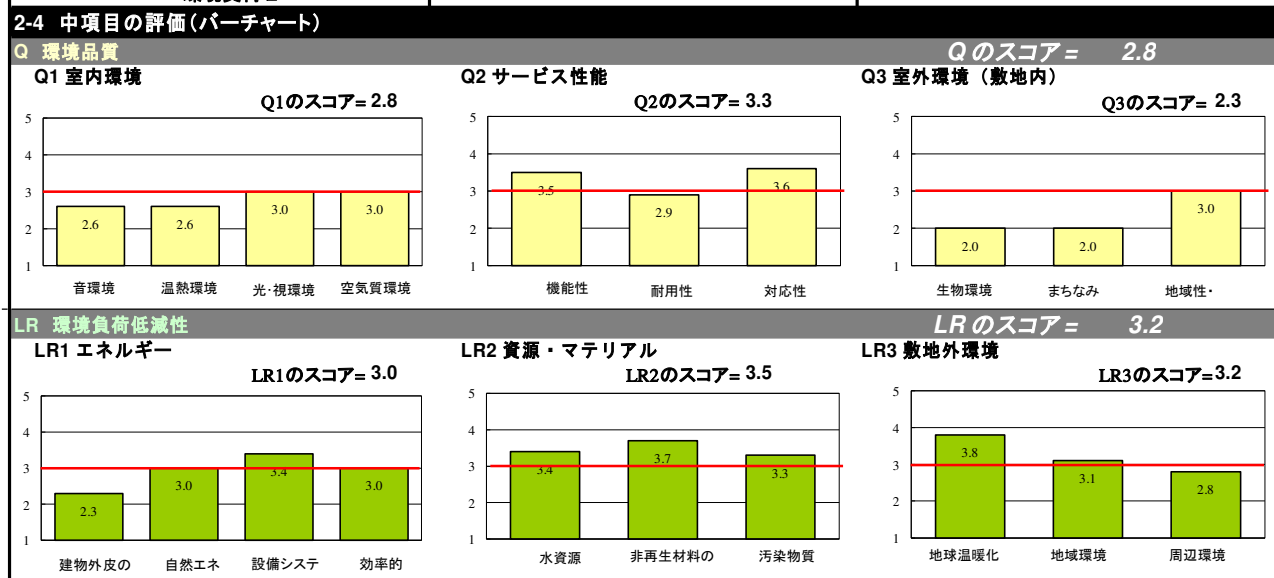
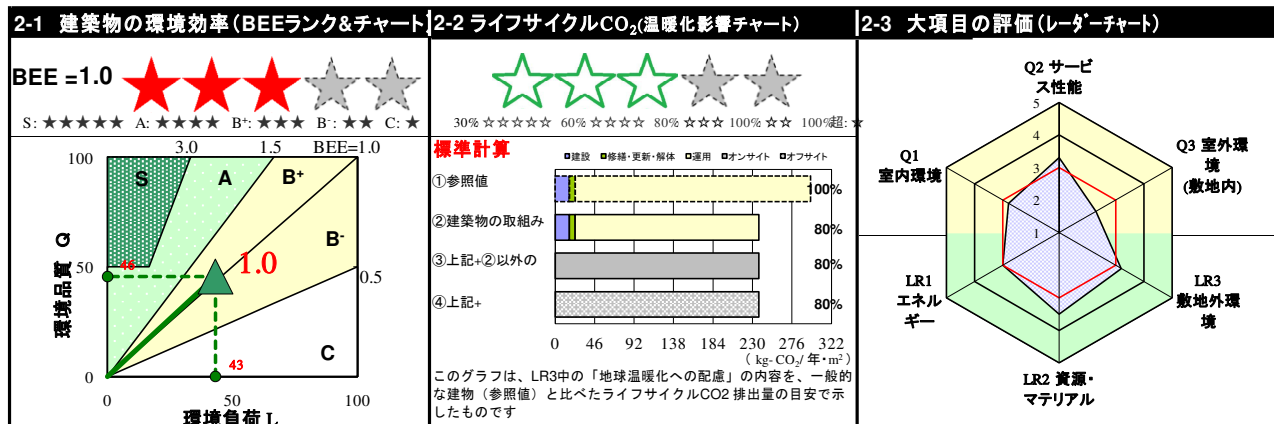


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)万代松原田井城店 新築工事	階数	地上1F
建設地	大阪府松原市田井城	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年8月6日
敷地面積	9,484 m ²	作成者	松原 顕士
建築面積	4,043 m ²	確認日	2024年8月6日
延床面積	3,968 m ²	確認者	松原 顕士



3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 維持管理性能に配慮した	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LEDを採用しBELm低減に配慮した	LR2 資源・マテリアル 節水、省水機器を採用し、水資源保護に配慮した	LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場の計画に配慮し、交通負荷抑制に貢献した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)万代松原田井城店 新築工事							
建設地		大阪府松原市田井城							
用途／区分		物販店							
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B+	
①	CO2削減							4	
②	みどり・ヒート アイランド対策							2	
③	断熱性能							2	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外		
④	エネルギー消費性能							3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外		
								3	
⑤	自然エネルギー直接利用							—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
エネルギー消費量の報告							報告しない		
【評価項目】									
項目	評価内容						スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						3.8	4	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善						2.0		
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						2.3	2	
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						3.4	3	
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない	報告しない	
その他									
先進的技術の導入	技術の名称				考慮事項				
特に配慮した事項									